

今月のkaizen



かいぜん、
いいね!

部署名：薬局

改善者：小澤 秀弘

連携部署：



☆改善テーマ☆

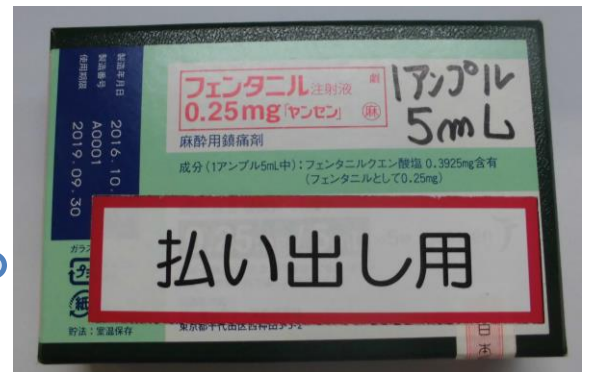
”悩んでいても始まらない”
～病棟での麻薬注射薬施用後の処理をスムーズに～

☆原因や問題☆

看護師が麻薬注射薬の施用終了後の処理を行う際に、麻薬施用票と麻薬金庫内の注射薬空アンプル(未使用の場合も)との照合(一致)が分かりにくいため確認に手間がかかっていた。

使用後の空アンプルを容器に入れ、麻薬金庫に保管するが、いつ・誰に施用したものか外観で分からないため、返品業務時に手間取っていた。

今までの麻薬注射払い出し容器



☆対策や方法☆

薬局から麻薬注射薬を払出す容器(注射箱)に、「患者名」「使用予定日」「オーダー番号」を表記する【払出用シール】を作成し貼ることとした。これにより、注射使用後の麻薬施用票のオーダー番号と麻薬注射箱に貼ったオーダー番号の照合(一致)が確実に簡単に行えるようになった。

麻薬施用票のオーダー番号

払出受取者	備考
	島根県

1/1 10:03 オーダ番号 20190101100○×△□

【払出用シール】のオーダー番号

払出用	
患者名:	六日布 太郎 様
使用予定日:	/ / 日
オーダー番号(下4ケタ):	○×△□
備考:	

ヤンセンファーマ株式会社
東京都千代田区西神田3-5-2

☆効果☆

麻薬注射薬使用後の処理業務(施用票の提出)は、麻薬管理上で重要な業務であり、今回の改善によって正確で確実にスムーズに行えるようになった。